

参加費

無料
(事前登録制)



On-line TATSUJIN スペシャル企画

導入事例共有会

ライブ配信日

11月14日(土) 13:00スタート

こちらは無観客のオンライン配信イベントになります

限定

「利用の達人」会員施設をはじめとした
富士通電子カルテシステム導入病院様 及び 導入ご検討病院様

日頃より大変お世話になっております!

このたび電子カルテフォーラム「利用の達人」では、On-line TATSUJINスペシャル企画
「導入事例共有会」を開催いたします。

病棟における感染対策、患者様を横断的・俯瞰的に確認することで安全性や業務効率を
高めるソリューションの導入事例をご紹介します。また、情報の見え方を改善して入院
業務に活かす取り組み、新型コロナ疑い患者の外来スクリーニングの事例など、電子
カルテをもっと使いこなす事例の共有もあり、盛りだくさんでお届けいたします。

そして、今回はさらにスペシャルな企画をご用意いたしました!

人の行動様式の変化を含め、今起こっている大転換について考える機会となるような
トークライブの3本立てです。

どこにいても、スマートフォンさえあれば、ご参加いただけます。

ぜひ一緒にこのイベントを盛り上げませんか? 院内の皆様お誘い合わせの上、ご参加
ください!

ご参加にあたり事前の申込みをお願いいたします

10月27日(火)16:00申込スタート

<https://www.event-info.com/on-line-tatsujin-special/>



プログラム

講演内容や時間は変更になる場合がございます

13:00 オープニング

| | | | |
|---------------------|------------------|---|--|
| 13:05 ～ 13:35 | Opening session | Google社員が語る What's Google? Google cloud Japan カスタマーエンジニア 技術部長 安倍 伸征 氏 | Google Chrome、Gmail、GoogleMap…、日々の生活や仕事に密接に関わるGoogle。Googleの使命は、「世界中の情報を整理し、世界中の人々がアクセスてきて使えるようにすること」を掲げています。そこで働く方々の仕事や情報を扱うスキルやモラル、働き方、ミッションを遂行するための組織のマネジメントはいかに。世界のGoogleに迫ります。 |
| 13:35 ～ 13:52 | | 統合データ管理システムHOPE LifeMark-VNAの導入～病院情報システムの機能強化とコスト削減をめざして～ 佐渡総合病院 病院長 佐藤 賢治 様 | 医療や社会情勢が急速に変化する現状は病院情報システムの重要性を高め、その機能にも増強・拡大を要求する。一方で、病院の運営は厳しく、システム導入・更新への負担が重くのしかかる。当院ではシステム更新を機に、機能強化とコスト削減を両立すべく、国内導入がまだ少ない統合データ管理システムVNAを導入した。VNAの利点と課題、今後の期待や病院グループへの展開について述べ、導入を検討している施設への参考としたい。 |
| 13:52 ～ 14:09 | | シームレスな救急医療を目指して～PocketChart院外機能の活用～ 春日井市民病院 医療情報センター 馬場 勇人 様 | 当院は地域の基幹病院であるとともに救命救急センターとして、年間約10,000件の救急搬送含め、約30,000人の救急外来患者を受け入れています。休日や夜間においても安心・安全な医療を提供することを目的に、院外にいる専門医が電子カルテの各種記録やオーダー、検査値、画像等の閲覧だけでなく、プログレスノートの記載等をすることによりシームレスな診療を提供できるPocketChartの院外機能を導入しています。 |
| 14:14 ～ 14:44 | Special session | ニューノーマルが作り出す常識とヘルスケア～デジタルトランスフォーメーションが作り出す未来と富士通の挑戦～ 富士通株式会社 シニアエバンジェリスト 松本 国一 氏 | 新型ウイルスにより世界は大きく変化、日本においても緊急事態宣言が発令され、働く現場に大きな衝撃が走りました。この大きな変化に世界がどの様に対応したのか、日本においてはどう取り組む必要があるのか事例を交えながらご紹介します。また、この変化に対応する富士通が取り組む新しい働き方についてもご紹介、ヘルスケア現場の変化について、働き方を変えるヒントをご紹介します。 |
| 14:44 ～ 15:01 | | 4病棟表示ツールによる精神科入院管理 福井県立病院 健康診断センター 井上 和也 様 | 一般病棟は病棟の造りがほぼ同じのため、部屋番号からナースステーションに近い部屋、回復室などをイメージできる。一方、精神科病棟は造りが違うため、部屋の番号からは部屋の位置がわかりにくく、観察室や保護室、監視モニタや酸素配管の有無を即座に確認できなかった。そこで、精神科4病棟を一画面に表示し、酸素配管や監視モニタの配置も把握できる病棟マップを作成した。 |
| 15:01 ～ 15:18 | | がん専門病院内でのスクリーニング外来の取り組み がん研究会有明病院 看護部(外来) 大澤 めぐみ 様 | がん患者は新型コロナウイルスで重症化するリスクが高いと言われており、当院のようながん専門病院に入院・通院する患者が安心して治療を受けられる環境を整えることは重要な課題であった。感染リスクの懸念から受診控えなどが起こる中、クラスターなどを起こさずに通常診療を継続するため、多職種で運用するスクリーニング外来では様々な取り組みが行われた。また、今後の第2波に向けての準備も必要であり、それらの取り組みについて報告する。 |
| 15:18 ～ 15:35 | | コロナ禍における電話処方・外来予約変更への対応 がん研究会有明病院 看護部(外来) 鈴木 めぐみ 様 | 当院はがん専門病院として、安全かつ質の高い医療の提供を目指している。通院時の新型コロナウイルスへの感染リスクに対する不安により、治療や定期的な診察・検査の延期やキャンセルに関する患者からの問い合わせが殺到した。今回、その対策として当院外来で実施した、診察・検査予約の延期・キャンセル希望への対応、電話診察による院外処方箋の発行・郵送に関する取り組みと、今後の第2波に向けた課題について報告する。 |
| 15:40 ～ 16:20 | Special talklive | これからの病院経営～withコロナ時代だけじゃない、この荒波を乗りこなすためのヒント～ 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会支部長・常務理事 正木義博 様 千葉県済生会習志野病院 事務部長 兵藤 敏美 様 | 病院は、なくてはならない存在でありながら経営はますます厳しい状況に追い込まれつつあります。病院完結型の医療から、地域完結型の医療、そして現在、過去を踏まえ、現状をどう可視化し、未来に進むために経営の舵をどう取ればいいのか、長年経営に携わるお二人からの熱いメッセージをお届けします。 |
| 16:20 ～ 16:37 | | 病診連携以外でのHumanBridgeの活用～リモートカルテ、リモートSDV～ 名古屋第二赤十字病院 医療情報管理センター 岸 真司 様 | HumanBridgeを病診連携以外の用途で活用している。その運用について報告する。 1. リモートカルテ:当院職員である医師が利用者。10ヶ月間に、病院備品のiPad3台、9診療科39名の医師による917名(実数)の患者カルテ閲覧に使われた。 2. リモートSDV:治験依頼者から指名されたモニターが利用者。2ヶ月間に、モニター1名による4名(実数)の治験患者カルテ閲覧に使われた。 |
| 16:37 ～ 16:54 | | GRID導入後の現場からの反応とその効果について 慶應義塾大学病院 看護部 情報システム部 杉原 弘容 様 | カルテを開く事なく部門部署の特性に合わせた情報を短時間で一覧できる新機能GRID。ある程度の自由度をもって施設側で機能の作りこみができることも魅力であると感じている。今回は導入時にユーザーへ行った機能説明に対する反応などを紹介しつつ、現状で当院が感じている本機能に合致しやすい要件・しつらい要件を紹介する。 |
| 16:54 ～ 17:11 | | オプションですが…空床管理マップ～良いところと課題～ 県立広島病院 看護部 患者総合支援センター病床管理室 村上 久 様 | 病院で入退院管理は必要な管理業務です。電子カルテ標準機能では、【病床管理】【ベッドコントローラー】【ベッドスケジュール】【移動予定患者一覧】【空床検索】機能がありますが、「入院・退院数」や「今、空いている病室を探せる機能」はあるが、「いつ頃、病室が空きそうか」についての機能はありません。当院では、オプション機能の【空床管理マップ】をEGMAIN-GXで導入し、LifeMark-HXでも使用しています。病床管理室として利用しているオプション機能について、良い点、課題点含めて説明します。 |
| 17:11 ～ 17:28 | | 感染管理支援ライブラリ導入後の活用状況と課題～病棟看護師から見た感染管理支援ライブラリ～ 岐阜市民病院 看護部長室付医療情報部 高階 利昭 様 | 2017年1月1日、当院の電子カルテシステムはNECから富士通(HOPE)へベンダー変更となつた。今回の発表では、2016年3月31日から導入作業を開始した感染管理支援ライブラリの看護部における導入経緯と現在の活用状況について報告します。また、感染管理支援ライブラリ導入後、4年弱が経過した現在の看護部の課題について報告します。 |
| 17:28 ～ 17:50 | | TATSUJINラヂオ | 全国のユーザー会員様から寄せられたお悩みや質問に、「利用の達人」世話人が答えます。 |
| 17:50 | | エンディング | |